

芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

304号

令和2年
～5月



生徒指導ロールプレイ

4月7日(火)、芸北分校の教職員によって、学校生活における注意事項のロールプレイを行いました。「さすが」の一言です。本物?の役者になりきり、新入生にとって、たいへん分かりやすい演技でした。今後の学校生活に是非、生かしてください。

部活動紹介及び分校歌指導

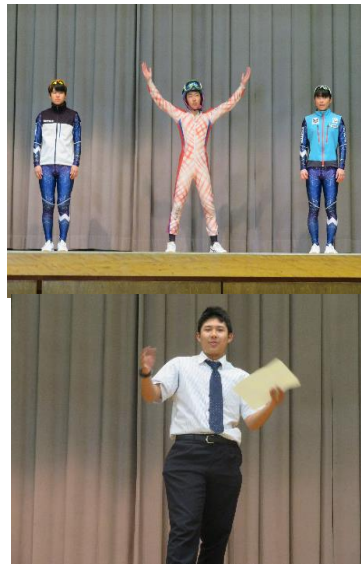


4月8日(水) 新入生に対して芸北分校2・3年生による各部活動の紹介及びパフォーマンス並びに先輩からの分校歌の指導がありました。そして、最後は新1年生による自己紹介です。出身中学校、氏名、入部したい部活動等を一言ずつ述べます。前日の教職員による生徒指導ロールプレイや、先輩による部活動紹介パフォーマンスによって触発されたのか? 本領を發揮したのか? :

全国から入学できます! 女子下宿、男子寮完備。町より月一万円補助制度あり。見学随時可能。(電話)〇八二六・三五・〇七二六



芸北分校の今年度のポスターには「殻破っていないか?」というフレーズがあります。この3年間で自分自身の殻を破って大



なんと十八番(おはこ)を1曲披露する新入生、物まねをする新入生、一発芸をする新入生等、入学してわずか2日で分校に染まった?



大きく成長してください。



破ってかない? 殻

広島県立加計高等学校
芸北分校

今年の卒業生が「みのり学習」において作成した作品です。





「家庭基礎」マスク製作

4月9日
(木) 1年生、「家庭基礎」の授業においてマスクを製作



今年度スタートした女子下宿「みなこ館」が、きたひろネットから取材を

「みなこ館」取材を受ける

ら真剣に取り組みました。



しました。皆、自分や家族に対して思いを込めてコロナの早い終息を願いな

生徒のみんなが笑顔で登校できる日を思い浮か

分校生徒を待ちわびる
芸北分校の現在の様子



受けました。芸北地域の皆さまに支えられて生活できることに感謝して過ごしていきます。残念ながら、10日ほどで一旦帰省となりましたが、再登校できる日を待ちのぞみながら家庭学習に励んでおります。



べながら、**芸北分校の教職員一同が一丸**となつていつでも登校できる準備を進めています。校舎内のワックスがけ、グラウンド整備、草刈り、りんご農園の管理等、再登校できたときに生徒のみんなが安全で、安心して思う存分に学べる環境を準備します。



「日々のルーティーンを大切に」

先日、**宇宙飛行士の野口聡一さん**がNHKのある番組において次のように語っていた。

「国際宇宙ステーションにいる宇宙飛行士も同じように**行動制限**があり、思うように人に会えないなど、**似たような精神状況**になります。そうした中で自分は朝起きたあと水を飲んでから運動するという**自分なりのルーティーン**を作ることが、生活のペースをつかむために非常に大切でした」と狭い空間で健康的な生活をするため、宇宙飛行士ならではの秘訣を紹介した。通算、**宇宙の滞在日数は170日以上**に達しており、3度目の宇宙飛行計画に臨んでいる。

思い返せば日本で話題となり始めたのは1月中旬であっただろうか・・・だれもがこんなにも世界に影響を与えるとは考えもしなかったであろう。あれから4か月が経った現在、毎日**コロナ感染症**の話題である。

大人の私たちでも日々の生活のルーティーンがいかに大切であるかを実感した1か月余りであった。生徒のことを考えると不憫でならない。終息まであとわずかと思いつい、以前のよう**な生活が早々に訪れることを念じ、自分なりの日々のルーティーン**を意識しながら生活を送りたい。

(太公望球児)